

百名っ子

(教育目標)
目標を持ち自ら学ぶ子
心豊かで決まりを守る子
健康でたくましい子

令和3年7月8日
第6号
校長

中田 厚仁(あつひと)さんのことば…



学校には誰かがやらなければ良くならないことや進まないことがあります。並んでないトイレのスリッパ、片付けられていない雑巾などは「誰かがやらなければ綺麗にならない」のです。百名っ子の一人一人が「その誰かになってほしい」と話しました。すると、早速6年生の男子が「近くの道に落ちていました」ともってきたのが右下の写真です。彼の行いによって美化が保たれたのです。多くの子が「その誰か」になってほしいものです。

「この世の中に誰かがやらなければならぬことがある時、僕は、その誰かになりたい。」

今週の朝会で、中田厚仁さんの言葉を紹介しました。一九九三年にカンボジアで命を落とした青年の言葉です。当時、政情不安の残るカンボジアで国際選挙ボランティアの活動をしていました。その活動を快く思わない一派によって射殺されました。残念なことですが、彼がカンボジアへ行くことを反対したお母さんへ説くために語った言葉は、子ども達にも理解できると思い紹介しました。その言葉が次の言葉です。

玉城さん ありがとう

PTA 副会長の玉城紀幸さんが右の「ついたて」を作ってくれました。新型コロナウイルス感染防止対策です。今月末に予定されている保護者面談で使用する予定です。対面での飛沫防止に効果があると思います。玉城副会長、ありがとうございました。



拾われたゴミ

地域に学び・地域と学ぶ…5年生の総合的学習「稲作」について

講師：石嶺眞吉先生



戦前・戦後・現在の変遷を「食」と「土地利用の変化」についてお話していただきました。百名小周辺の商店などの変化や食べ物について興味深く聞いていました。

講師：新垣瑛士先生



戦前・戦後・現在の水田について、地図や写真を用いて説明。水田からキビ栽培へ変わった理由も学びました。最盛期は予想以上に水田が広がっていたことに驚いていました。

沖縄の稲作発祥の地「百名・玉城」。今、五年生が様々なゲストの方々から、また、体験活動を通して「稲作」について学習しています。十四日には、元仲村渠区長の山川さん、仲村渠稲作会の大城さんを招いて学習を深めます。次回の学習は、稲作栽培の工程を歌であらわした「クエーナ」や二期作の説明。子ども達への願いを学ぶ予定です。